

八百津町 全地区

令和2年度

【地域の概要】

- 耕地面積511ha(田356ha、畑155ha)のうち約13%にあたる66haを担い手が耕作している。
- 中山間地域で1枚の圃場が小さく、効率的な営農に支障がある。
- 専業農家が少なく、自給的農家がほとんどである。

取組開始前の状況や課題

- 町内全域を対象とする既存の人・農地プランが1つあるが、地区ごとに農業の特色があり、プランに反映できていない。
- 既存のプランを6地区に分け、農地所有者や耕作者の今後の農地利用の意向を把握し、意見を反映した方針に沿って調整を進めていく。

取組内容

○令和2年2月-3月：町は水稻営農計画書の配布対象農家などを中心に、人・農地プランのアンケートを実施した。1,676枚を配布し、712枚(42.5%)の回答を得た。

〈主な結果〉

- ・農地所有者の25%は既に耕作していない
- ・農地所有者の50%は後継者がいない

○令和3年11月～：アンケート結果を地図に落とし込み、地区ごとに農業委員・推進委員を地区の農家の代弁者として招集し、話し合い実施。



結果を落とし込んだ航空写真

今後の展開と方向性

【実質化されたプラン公表】

○令和3年3月：6地区の人・農地プラン公表。

【プランに盛り込まれた意見・方針】

- 担い手、耕作者が少ないため、手間がかからず広い面積を消化できる作物の選定を行う。
- 地元の特産品の原料として使ってもらえるような作物を選定する。町全体で6次産業化を行うイメージ。
- 鳥獣害が農家の意欲を大きく下げる。その対策を進める。



農業委員・推進委員による話し合い